

般舟三昧院はんしゅうさんまいいんは今出川通糸屋町の西にあり、宗旨〔天台、真言、律、浄土〕兼学にして、禁裏内道場と称す。開山は  
惠篤上人けいとくぜんくう善空と号し、字は敬川けいせん諡は円慈和尚えんじといふ。本尊は阿弥陀仏の座像にして慈覚大師じかくの作なり。帝王歴代の神牌  
を安置す。後土御門院ごつちみかどのいんの御塔は本堂の西にあり。式子内親王しきしなにしんわうの塚。〔当寺にあり。定家葛の墳と云ふ。むかし此地定家  
卿きみやうの別荘なり、門前の辻子を定家の辻子といふ。当院初は伏見里指月ふしみのさとしげつにあり、文禄三年此地に移す〕